

高砂市国民健康保険第2期データヘルス計画
及び第3期特定健康診査等実施計画
《平成30年度～令和5年度》
中間評価



令和3年11月
高砂市

目次

中間評価について	1
----------	---

第2期データヘルス計画における保健事業の検証

1. 生活習慣病の重症化予防	2
2. 健康意識の向上	6

第3期特定健康診査等実施計画における保健事業の検証

1. 特定健康診査の実施方法	10
2. 特定健康診査の実施項目	11
3. 特定保健指導の実施方法	13
4. 特定保健指導の実施項目	14
5. 特定健康診査から特定保健指導の流れ	15
6. 特定健康診査の受診実績	16
7. 特定保健指導の実施実績	19

中間評価について

はじめに

医療費の適正化と健康寿命の延伸を目的とした第2期データヘルス計画（以下「計画」という。）を平成29年度に作成し、約3年が経過しました。その間、高砂市では健康課題の解決に向け、さまざまな保健事業に取り組んできました。

中間評価では、これまでの実績に基づき、計画の目的、目標の達成状況、指標のあり方などについて、振り返りや評価を行います。その結果を基に今後の保健事業の計画や目標の見直しを行います。

平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	
2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	
	第1期データヘルス計画 (平成28～29年度)		高砂市国民健康保険 第2期データヘルス計画 及び第3期特定健康診査等実施計画 平成30～令和5年度							
		第2期特定健康診査等 実施計画 (平成25～29年度)								

第2期データヘルス計画中間評価の指標判定

A	改善している (ベースラインと比較した実績が、110%以上) 又は目標を達成している	C	悪化している (ベースラインと比較した実績が、90%未満)
B	変わらない (ベースラインと比較した実績が、90～110%未満)	D	評価不能

第2期データヘルス計画における保健事業の検証

1. 生活習慣病の重症化予防

【実施事業1】糖尿病性腎症重症化予防

目的	運動や栄養についての保健指導を行い、糖尿病の重症化による人工透析治療への移行を遅らせることで、医療費の抑制につなげます。
対象者	糖尿病の重症化する可能性の高い人
事業内容	レセプトデータ、特定健康診査結果データをもとに糖尿病が重症化する可能性が高い被保険者を選定し、効果的な保健指導を実施します。

糖尿病性腎症重症化予防事業の実績

	平成29年度 (^レ - ^ス 1 ^イ)	平成30年度	令和元年度	令和2年度
保健指導対象人数(人)	108	85	114	96
保健指導参加者数(人)	5	7	2	5

指標判定	評価・課題・今後の方向性	中間評価後の目標
B (参加者数)	<p>実施業者の統計では、対象人数に対して7~8%程度の参加者数を見込んでおり参加者数実績は妥当と言える。</p> <p>保健指導の他に、令和2年度は新規事業として「糖尿病治療中断者に対する受診勧奨」・「受診勧奨判定値が出ているにもかかわらず医療機関を受診していない者への受診勧奨」を実施し、さらなる重症化予防に努めている。</p> <p>令和3年度以降も事業を継続するとともに、高砂市医師会と連携し参加者数の増加に努め、医療費の抑制につなげる。</p>	令和5年度 7人

【実施事業2】 各種がん検診助成

目的	定期的な検診により、疾病の早期発見、早期治療につなげます。
対象者	検診受診者
事業内容	健康増進課が実施する大腸がん検診、乳がん検診、子宮がん検診、胃がんリスク検診の受診希望者に対し、窓口にて助成券を交付します。

各種がん検診助成事業の実績

	助成券	平成29年度 (A° - A^{I})	平成30年度	令和元年度	令和2年度
大腸がん	交付件数(件)	734	760	819	813
	受診件数(件)	636	670	720	683
	利用率(%)	86.6	88.2	87.9	84.0
乳がん	交付件数(件)	353	414	355	387
	受診件数(件)	307	369	289	315
	利用率(%)	87.0	89.1	81.4	81.4
子宮がん	交付件数(件)	322	363	322	355
	受診件数(件)	256	301	240	268
	利用率(%)	79.5	82.9	74.5	75.5
胃がんリスク	交付件数(件)	271	193	254	222
	受診件数(件)	186	125	198	153
	利用率(%)	68.6	64.8	78.0	68.9
計	交付件数(件)	1,680	1,730	1,750	1,777
	受診件数(件)	1,385	1,465	1,447	1,419
	利用率(%)	82.4	84.7	82.7	79.9

指標判定	評価・課題・今後の方向性	中間評価後の目標
B (交付件数)	<p>「悪性新生物」による死亡は、依然として全国的に高い状況である。被保険者が年々減少しているのに対し、助成券の交付件数は増加しており、広報誌等による周知の結果が出ていると言える。</p> <p>受診率向上のため、健康増進課において、いきいき百歳体操など、通いの場へのポピュレーションアプローチ時における啓発活動や勸奨通知送付等に取り組んでいる。国保年金課としても、配布物等による助成事業の普及・啓発活動を継続して行い、健康増進課と連携して受診者数の増加につなげていきたい。</p>	令和5年度 1,850件

【実施事業3】 人間ドック・脳ドック助成

目的	定期的な検診により、疾病の早期発見、早期治療につなげます。
対象者	検診受診者
事業内容	市内医療機関が実施する人間ドック・脳ドックに対し、受診者が支払う検査費用の一部を助成します。

各種ドック助成事業の実績

		平成29年度 (平成28年度)	平成30年度	令和元年度	令和2年度
人間ドック 1日コース	助成件数(件)	188	207	178	169
人間ドック 1泊2日コース	助成件数(件)	32	22	17	10
脳ドック	助成件数(件)	93	76	45	42
計	助成件数(件)	313	305	240	221

指標判定	評価・課題・今後の方向性	中間評価後の目標
C (助成件数)	がん検診同様、定期的な検診により不調の早期発見を行うことで、生活習慣病等の予防や改善、重症化予防、ひいては健康寿命の延伸につながると考える。 近年、助成件数が減少しているため、広報誌等による普及・啓発活動に努め、助成件数の増加につなげていく。	令和5年度 345件

【実施事業4】 歯周病検診の啓発

目的	歯周病は生活習慣病と密接な関係があるため、定期的な検診により歯周病の予防、早期治療につなげます。
対象者	年度末年齢が、40歳、50歳、60歳、70歳の市民
事業内容	協力歯科医療機関における検診 (問診・口腔診査・PMTC(歯のクリーニング))

歯周病検診事業の実績

	平成29年度 (平成30年度)	平成30年度	令和元年度	令和2年度
受診者数(人)	497	423	406	308
対象者数(人)	5,061	5,049	5,049	4,946
受診率(%)	9.8	8.4	8.0	6.2

指標判定	評価・課題・今後の方向性	中間評価後の目標
C (受診率)	<p>歯周病菌は、糖尿病や肥満、心筋梗塞等と深い関係があると言われており、早期発見を行うことで健康寿命の延伸につながると考える。歯周病検診事業として、40歳、50歳、60歳、70歳の国民健康保険被保険者に対し、健康増進課より無料受診券を配布している。</p> <p>受診率向上のため、健康増進課が勧奨通知送付等による受診勧奨に取り組んでいる。国保年金課としても、健康増進課と連携して受診者数の増加につなげていきたい。</p>	令和5年度 10.0%

2. 健康意識の向上

【実施事業1】いきいき百歳・かみかみ百歳体操の啓発

目的	筋力の向上と口腔機能の向上を目指した体操の啓発を行うことにより、高齢者が要介護状態に陥ることなく、健康でいきいきとした生活を送れるようにします。
対象者	◆いきいき百歳体操 3人以上で週1～2回、3ヵ月以上継続実施できるグループ ◆かみかみ百歳体操 いきいき百歳体操を半年以上続けているグループ
事業内容	◆いきいき百歳体操 DVDを視聴しながら、椅子に座って筋力体操を行います。保健師等が技術支援を行います。 ◆かみかみ百歳体操 DVDを視聴しながら、椅子に座って口の周りや舌を動かします。保健師、歯科衛生士等が技術支援を行います。

各種事業の実績

		平成29年度 (平成30年度)	平成30年度	令和元年度	令和2年度
いきいき百歳体操	グループ数(グループ)	78	88	88	90
	参加人数(人)	1,750	1,945	1,948	2,424
かみかみ百歳体操	グループ数(グループ)	154	159	159	62
	参加人数(人)	2,138	2,109	2,194	773
計	グループ数(グループ)	232	247	247	152
	参加人数(人)	3,888	4,054	4,142	3,197

指標判定	評価・課題・今後の方向性	中間評価後の目標
C (参加人数)	コロナ禍の影響により、令和2年度の参加人数が大きく減ってしまったが、元年度までの推移では、年々参加人数が増加している。 地域福祉課、健康増進課と連携し、参加者数の増加に努め、健康寿命の延伸につなげていく。	令和5年度 4,280人

【実施事業2】 高砂にここポイント制度の充実

目的	特定健診や各種がん検診等を受診する動機づけを行うことにより、受診率の向上を図り、健康への意識を高めます。
対象者	検（健）診受診者
事業内容	特定健診や各種がん検診等を受診することにより、受診者に高砂にここポイントが付与されます。

高砂にここポイント付与事業の実績

	平成29年度 (レ-351)	平成30年度	令和元年度	令和2年度
ポイント付与件数（件）	591,921	762,184	899,271	—

【備考】

特定健康診査や各種がん検査等に限らず、多くの取組においてポイントが付与されており、国保事業のみの抽出が困難であるため、表の実績件数は高砂市における事業全体の件数を記載。

指標判定	評価・課題・今後の方向性	中間評価後の目標
D (ポイント付与件数)	<p>特定健康診査や各種がん検査等に限らず、多くの取組においてポイントが付与されており、今事業が特定健診等にどの程度の影響を及ぼしたのかを把握・検証することは困難である。なお、高砂にここポイント制度は令和元年度で終了している。</p> <p>令和2年度は新たなインセンティブとして、特定健診受診者のうち抽選で図書カードが当たるキャンペーンを実施しており、今後、図書カードを含めた効果的なインセンティブを検討していきたい。</p>	—

【実施事業3】 医療費通知・ジェネリック差額通知送付

目的	医療費や処方された薬剤をジェネリック医薬品に切り替えた場合の差額を通知し、被保険者の健康や医療に対する理解を深めます。
対象者	高砂市国民健康保険被保険者
事業内容	医療費通知は年6回、ジェネリック差額通知は年2回送付します。

各種通知事業の実績

		平成29年度 (Λ - λ 11)	平成30年度	令和元年度	令和2年度
医療費通知	送付件数(件)	63,981	62,016	60,694	59,172
ジェネリック 差額通知	送付件数(件)	1,046	781	656	481
ジェネリック医薬品使用割合(%) ※3月診療時点		—	78.4	80.0	82.6

指標判定	評価・課題・今後の方向性	中間評価後の目標
A (使用割合)	<p>医療費通知を年6回送付することで、受診の有無や診療日数等の誤りを確認するだけでなく、自身の健康管理や、医療に対する関心・理解を深めることができるよう努めている。</p> <p>また、国が示すジェネリック医薬品の使用割合80%を目指すべく、ジェネリック医薬品への更なる理解の促進を図るため、差額通知等において品質や使用促進の意義等について記載している。使用割合は目標の80%を超えており、周知の結果が出ていると言える。引き続き、普及・啓発に努めていく。</p>	令和5年度 80%

3. 特定健康診査・特定保健指導実施率の向上

【実施事業1】 特定健診未受診者等対策支援事業の活用

目的	特定健康診査未受診者に対し、特定健康診査の必要性を認識できるよう、受診につながる勧奨を実施し、受診率の向上を図ります。
対象者	特定健診未受診者
事業内容	兵庫県国民健康保険団体連合会が実施する「特定健診未受診者等対策支援事業」を活用し、電話等による受診勧奨を行います。

特定健診受診勧奨事業の実績

	平成29年度 (パ-57イ)	平成30年度	令和元年度	令和2年度
電話勧奨対象者数	1,000	1,106	1,131	新型コロナウイルスの影響により 事業未実施
勧奨実施者数	869	567	649	
勧奨対象における受診者数	105	28	46	
勧奨実施者の受診率(%)	12.1	4.9	7.1	

【備考】各年度の勧奨対象者

平成29年度 65～74歳までの平成28年度未受診の方

平成30年度 40～49歳までの平成29年度未受診の方

令和元年度 60～64歳までの平成30年度未受診の方

指標判定	評価・課題・今後の方向性	中間評価後の目標
D (勧奨実施者の受診率)	<p>年度ごとに勧奨対象の年齢層を変えることで、効果的なターゲットの検証等に努めた。一般的に若年層ほど受診率が下がるため、勧奨実施者における受診率のバラつきが見られる結果となった。</p> <p>令和2年度以降は新型コロナウイルスの影響により、国保連からの職員派遣が出来なくなったため、事業が停止していたが、令和3年度は県のモデル事業として業者委託による電話勧奨事業を別途実施する。委託化により勧奨可能な時間、曜日、勧奨実施者数を拡大することができるため、委託業者と連携し、効果的な実施に努める。</p>	—

第3期特定健康診査等実施計画における保健事業の検証

1. 特定健康診査の実施方法

(1) 対象者への周知

特定健康診査の対象者に対しては、特定健康診査受診券、受診案内、実施機関名簿を同封して発送します。また、広報やホームページを活用して周知に努めます。受診券発送後に紛失等があった場合には、再発行を行います。

対象者	実施年度に40～74歳の人
発送時期	6月中に一齐発送

(2) 実施場所と時期

特定健康診査の実施方法は、受診しやすい実施方法が必要であることから、従来どおり「集団健診」と「個別健診」の選択性とします。

実施形態	実施場所	実施期間
集団健診	保健センターほか	7～2月
個別健診	市内受託医療機関	6～2月

2. 特定健康診査の実施項目

国が定める対象者全員に実施する「基本的な健診項目」と、医師が必要と判断した場合に実施する「詳細な健診項目」に基づき実施します。

基本的な診査項目

項目	備考
既往歴の調査	服薬歴及び喫煙習慣の状況にかかる調査（質問票）含む
自覚症状及び他覚症状の有無の検査	理学的検査（身体診察）
身長、体重及び腹囲の検査	腹囲の測定は、厚生労働大臣が定める基準（BMIが20未満の者、もしくはBMIが22kg/m ² 未満で自ら腹囲を測定し、その値を申告した者）に基づき、医師が必要でないとき認めるときは、省略可。 腹囲の測定に代えて、内臓脂肪面積の測定でも可
BMIの測定	BMI＝体重（Kg）÷身長（m）÷身長（m）
血圧測定	
肝機能検査	AST（GOT） ALT（GPT） γ -GT（ γ -GTP）
腎機能検査	血清クレアチニン 血清尿酸 eGFR
血中脂質検査	中性脂肪の量 HDL コレステロールの量 LDL コレステロールの量 中性脂肪が400mg/dl以上または食後採血の場合、LDL コレステロールに代えて、Non-HDL コレステロールの測定でも可
血糖検査	空腹時血糖またはHbA1c、やむをえない場合は随時血糖
尿検査	尿中の糖及び蛋白の有無

詳細な診査項目（医師の判断による追加項目）

項目	備考		
貧血検査（ヘマトクリット値、血色素量、赤血球数）	貧血の既往歴を有する者または視診等で貧血が疑われる者		
心電図検査（12誘導心電図）	当該年度の特定健康診査の結果において、収縮期血圧 140mmHg 以上もしくは拡張期血圧 90mmHg または問診等で不整脈が疑われる者		
眼底検査	当該年度の特定健康診査の結果において、血圧または血糖が、次の基準に該当した者		
	<table border="1" data-bbox="486 622 1385 678"> <tr> <td data-bbox="486 622 606 678">血圧</td> <td data-bbox="606 622 1385 678">収縮期 140mmHg 以上または拡張期 90mmHg 以上</td> </tr> </table>	血圧	収縮期 140mmHg 以上または拡張期 90mmHg 以上
	血圧	収縮期 140mmHg 以上または拡張期 90mmHg 以上	
<table border="1" data-bbox="486 678 1385 779"> <tr> <td data-bbox="486 678 606 779">血糖</td> <td data-bbox="606 678 1385 779">空腹時血糖値が 126mg/dl 以上、HbA1c(NGSP 値)6.5% 以上または随時血糖値が 126mg/dl 以上</td> </tr> </table>	血糖	空腹時血糖値が 126mg/dl 以上、HbA1c(NGSP 値)6.5% 以上または随時血糖値が 126mg/dl 以上	
血糖	空腹時血糖値が 126mg/dl 以上、HbA1c(NGSP 値)6.5% 以上または随時血糖値が 126mg/dl 以上		
<p>※但し、当該年度の特定健康診査の結果において、血圧の基準に該当せず、かつ血糖検査の結果について確認することができない場合においては、前年度の特定健康診査の結果等において、血糖検査の基準に該当する者を含む。</p>			

3. 特定保健指導の実施方法

(1) 対象者

国が定める「特定保健指導対象者の選定基準」に基づき、特定健康診査の結果を踏まえ、内臓脂肪蓄積の程度とリスク要因による階層化を行い、対象者を抽出します。

但し、質問票により服薬中と判断された人は、医療機関における継続的な医学的管理のもとでの指導が適当であるため、対象者から除くこととします。また、65歳以上75歳未満の人は動機づけ支援のみとします。

特定保健指導対象者の選定基準

腹囲/BMI	追加リスク	喫煙歴	対象	
	① 血糖②脂質③血圧		40～64 歳	65～74 歳
≥85cm (男性) ≥90cm (女性)	2つ以上該当	/	積極的支援	動機づけ支援
	1つ該当	あり なし		
上記以外で BMI ≥25kg/m ²	3つ該当	/	積極的支援	動機づけ支援
	2つ該当	あり なし		
	1つ該当	/		

(2) 特定保健指導対象者への周知と勧奨

特定保健指導の対象者に個別案内を行うとともに、広報、市ホームページにより周知を図ります。

また、特定保健指導の対象者に対して案内チラシを送付しますが、一定期間が経過しても未実施の人に対して電話勧奨等を実施します。

初回面談からプログラム終了までの間、電話や手紙等により利用者のフォローをきめ細かく行い、利用の継続を促します。

(3) 実施場所と時期

実施形態	実施場所	実施期間
特定保健指導	高砂市保健センターを中心に特定保健指導業務受託機関の提供する場所等	年間を通じて実施

4. 特定保健指導の実施項目

動機づけ支援、積極的支援それぞれのレベルに応じた内容の保健指導を実施します。

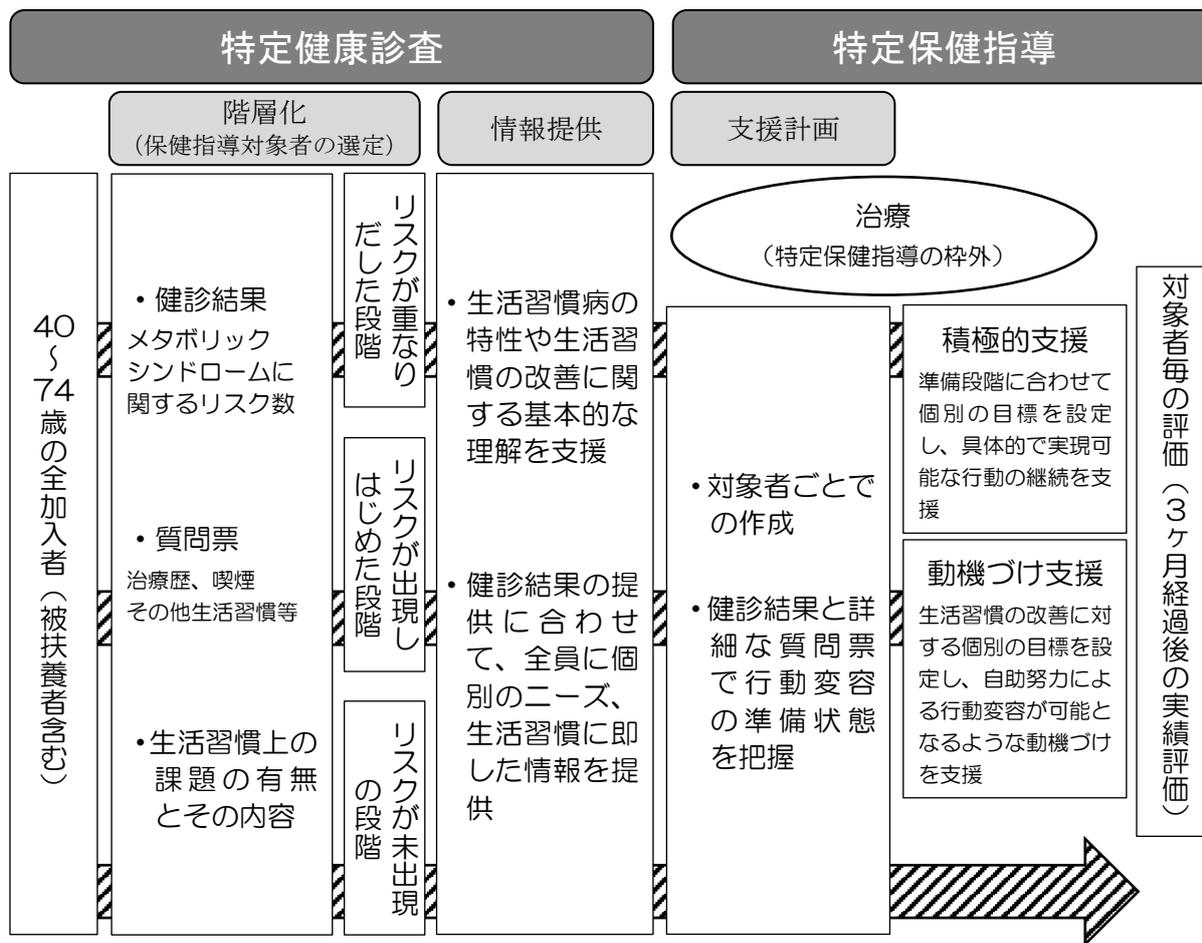
動機づけ支援

項目	内容
<p><初回面接> 1人あたり20分以上の個別支援。</p> <p><3ヶ月経過後の評価> 面接または電話、手紙等の通信手段を利用して実施。</p>	<p>特定健康診査の結果に基づき選定を行い、動機づけ支援と判定された人に対して、面接による支援を原則1回行う。</p> <p>保健師、管理栄養士等による面接のもと、喫煙習慣や運動習慣・食習慣・休養習慣等の実践可能な行動目標を具体的に設定し、生活習慣の行動変容を支援する。</p>

積極的支援

項目	内容
<p><初回面接> 1人あたり20分以上の個別支援。</p> <p><3ヶ月以上の継続支援> 個別支援、電話、手紙等の通信手段を組み合わせて行う。</p> <p><3ヶ月または6ヶ月経過後の評価> 面接または電話、手紙等の通信手段を利用して実施。</p>	<p>特定健康診査の結果に基づき選定を行い、積極的支援と判定された人に対して、初回時に面接を行い、自分の身体に起こっている変化を理解し、生活習慣改善の必要性が実感できるような働きかけを行う。</p> <p>保健師、管理栄養士等による面接のもと、喫煙習慣や運動習慣・食習慣・休養習慣等の実践可能な行動目標を具体的に設定し、生活習慣の行動変容を支援する。</p>

5. 特定健康診査から特定保健指導の流れ



6. 特定健康診査の受診実績

特定健診受診実績

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
受診率(%)	21.3	20.8	20.3	19.6
目標受診率(%)	—	26.5	33.0	39.8

指標判定	評価・課題・今後の方向性	中間評価後の目標
C (特定健康診査受診率)	<p>特定健診受診率向上対策として、令和2年度より「特定健診受診者のうち抽選で図書カードが当たるキャンペーンの実施」・県のモデル事業である「画一的な案内文であった勧奨通知から、対象者の特徴に応じて全20パターン以上のレイアウトから選択する勧奨通知の実施」を行っているものの、依然として受診率が低い状況である。図書カードキャンペーンについては、初年度ということもあり認知度もまだ高くないと考えられるため、継続的に取り組んでいきたい。</p> <p>また、令和3年度は上記に加え、県のモデル事業である土日、夜間に対応可能な電話勧奨事業、年20日程度、保健センターで実施していた集団検診を高砂市民病院で実施し、受診可能日を増やす（月～木実施）ことで受診率向上につなげたいと考える。</p> <p>年齢階層別に分析した際に、対象の中心層である65歳～74歳代の受診率が下がっていることは大きな問題であるため、電話勧奨等もターゲットを絞って実施する予定である。</p>	令和5年度 60.0%

年代別の特定健診受診実績（男性）

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
40歳代	対象者数（人）	976	956	904	879
	受診者数（人）	93	80	89	89
	受診率（％）	9.5	8.4	9.8	10.1
	目標受診率（％）	—	10.8	12.8	14.8
50歳代	対象者数（人）	774	790	813	845
	受診者数（人）	75	88	63	73
	受診率（％）	9.7	11.1	7.7	8.6
	目標受診率（％）	—	15.9	20.8	25.7
60～ 64歳	対象者数（人）	593	522	489	491
	受診者数（人）	118	86	86	76
	受診率（％）	19.9	13.7	17.6	15.5
	目標受診率（％）	—	21.4	26.4	31.4
65～ 69歳	対象者数（人）	2,158	1,907	1,689	1,498
	受診者数（人）	538	439	378	318
	受診率（％）	24.9	16.5	22.4	21.2
	目標受診率（％）	—	31.5	39.5	47.5
70～ 74歳	対象者数（人）	2,336	2,445	2,552	2,686
	受診者数（人）	561	557	589	596
	受診率（％）	24.0	22.8	23.1	22.2
	目標受診率（％）	—	27.8	35.3	42.8
男性合計	対象者数（人）	6,837	6,620	6,447	6,399
	受診者数（人）	1,385	1,250	1,205	1,152
	受診率（％）	20.3	18.9	18.7	18.0
	目標受診率（％）	—	24.7	31.3	38.2

年代別の特定健診受診実績（女性）

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
40歳代	対象者数（人）	828	794	754	740
	受診者数（人）	94	94	93	77
	受診率（％）	11.4	11.8	12.3	10.4
	目標受診率（％）	—	14.6	16.6	18.6
50歳代	対象者数（人）	815	792	830	826
	受診者数（人）	139	131	134	122
	受診率（％）	17.1	16.5	16.1	14.8
	目標受診率（％）	—	23.8	28.5	33.2
60～ 64歳	対象者数（人）	1,171	1,039	953	862
	受診者数（人）	283	248	216	188
	受診率（％）	24.2	16.7	22.7	21.8
	目標受診率（％）	—	31.5	36.5	41.5
65～ 69歳	対象者数（人）	2,706	2,456	2,199	2,008
	受診者数（人）	671	640	580	525
	受診率（％）	24.8	23.9	26.4	26.1
	目標受診率（％）	—	32.1	40.1	48.1
70～ 74歳	対象者数（人）	2,787	2,925	3,088	3,274
	受診者数（人）	653	679	672	705
	受診率（％）	23.4	23.2	21.8	21.5
	目標受診率（％）	—	28.0	35.5	43.0
女性合計	対象者数（人）	8,307	8,006	7,824	7,710
	受診者数（人）	1,840	1,792	1,695	1,617
	受診率（％）	22.1	22.4	21.7	21.0
	目標受診率（％）	—	28.0	34.6	41.2

7. 特定保健指導の実施実績

特定保健指導実施実績

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
実施率 (%)	11.1	8.1	8.9	13.3
目標実施率 (%)	—	20.1	28.1	36.0

指標判定	評価・課題・今後の方向性	中間評価後の目標
C (特定保健指導実施率)	<p>目標値には到達していないものの、特定保健指導実施率は上昇している。令和元年度末より、特定健康診査の集団健診の際に、腹囲等の基準を超えた方に対しては特定保健指導の初回面接をそのまま実施しており、スムーズに保健指導へ繋げることができたと考える。また、個別健診対象者には、結果説明時の際に、医師より特定保健指導チラシ配布していただいております。電話勧奨も別途行うことで実施率向上に努めている。</p> <p>引き続き、特定健診受診から保健指導へのスムーズな連携を努めていく。</p>	令和5年度 60.0%

高砂市

国民健康保険第2期データヘルス計画
及び第3期特定健康診査等実施計画

発行：高砂市

編集：高砂市市民部保険年金室国保年金課

住所：高砂市荒井町千鳥1丁目1-1

電話：079-443-9020

FAX：079-444-0013
